

協会だより



天草拓心高校（本渡校舎）生物生産科の動物の写真

令和6年（2024年）9月発行

熊本県公立学校事務職員協会

担当：天草地区

「船旅Ⅳ」

熊本県立牛深高等学校
事務長 園田 桂一郎

《第1章》

今回の『協会だより』で「船旅」は4作目となりました。新採時に「船旅Ⅰ」を作成してから、20年が過ぎ、最近では階段につまずいたり、眼鏡を頭の上に置く回数が多くなりました。年齢を重ねても自分の考え方がほぼ変わらないのは、不思議だなあと感じながら暮らしています。(味覚はかなり変わってきたと思います。)

私は高校時代からルフィに憧れていたもので、『船旅』という題名にしていたのですが、その縁があってなのか、牛高の事務室には潮風が吹き(マジ)、ようやく麦わら海賊団の一員になった気分です。ルフィの旅もそろそろ終わりに近づいてきたところですが、私の船旅は定年延長となりまだまだ続きそうです…。

One pieceの話はこのくらいにします。(船旅Ⅰの方で想いは書いていますので…。)

《第2章》

私の今一番の趣味と言ったら、井上 尚弥です。(知らない人はすみません。)ボクシングは、パンチのみの勝負ですが、他の格闘技とは違い楽しいです。小さいころからテレビでよく見ていたのですが、まさか日本人でこのような選手が現れるとは夢にも思っていませんでした。あの、やばいマイク・タイソンでさえ、井上 尚弥はやばいと言っています。

試合が行われる日程をいつもチェックしながら、家で動画などを見ていると、妻や娘からは、「またお父さん、井上 尚弥ばかり見ているよ、だる～」と、いじられながら生活をして土日は過ごしています。

《第3章》

初任時に趣味の話等を書かせていただき、現在に至り、全く成長していない自分ではありますが、そこもポジティブに受け止め、言い換えればブレないという事にしていただければありがたいです。

仕事で落ち込むこともありますが、現在は8月上旬であり、パリオリンピックで毎日癒されています。健康でないと仕事も趣味もできませんので、皆さんもまずは(年休をしっかりとって?)健康第一で日々の生活を送ってください。

それでは、『船旅Ⅴ』のタイミングがありましたら、またお会いしましょう。

ギア セカンド

「天草高校について」

熊本県立天草高等学校

主任事務職員 添田 真央

こんにちは。天草高等学校勤務4年目の添田と申します。今回は、天草高校について紹介します。天草高校は1896年に設立され、「正大・剛健・寛厚」の三綱領のもと本校全日制・定時制・倉岳校合わせて約640人の生徒が学業や部活動に取り組んでいます。天草の地域課題を探究し、世界の諸問題の解決を目指すSSHの研究活動をはじめ、海外研修や国内外の学会にて研究発表を行うなど、天草から世界で羽ばたく人材を育てています。

さて、ここ天草高校には天高四郎さんと天高子ちゃんというキャラクターがいます。学校案内のパンフレットや育友会新聞にも登場するこの二人に、昨年度新しい仲間が増えました。姉妹校である韓国の土坪（トピョン）高校でデザインされた、韓服を着た天高四郎さんと天高子ちゃんです。

本校は、2015年度より韓国の土坪高校と国際交流を行っています。コロナ禍では、オンラインでの交流となっていましたが、昨年度から両国を互いに訪問しての対面式の交流が再開しました。今年度も、7月10日から13日まで韓国から22名の生徒と3名の先生を迎えて、授業交流や部活動見学、文化交流会館での体験学習など本校生徒との交流活動が行われました。歓迎式典での本校生徒代表挨拶はすべて韓国語、土坪高校の生徒もすべて日本語で挨拶を行い、すごいなあと思いながら私も参加していました。最終日に土坪高校の生徒と別れるときには、涙を流していた生徒たちもいました。10月には本校から土坪高校を訪問する予定になっています。韓国で再会し、一緒に色々な経験をして良い思い出ができることを祈っています。

豊かな自然に囲まれて、国際交流も盛んな天草高校にぜひお越しください。





「 つなぐ つなげる そしてむすぶ
～天草ブリッジズ～」

熊本県立天草支援学校

主任事務長 富田 賢 ほか3人

皆様、こんにちは、初めまして。天草支援学校の東と申します。

天草支援学校が初めての県立への異動で、今年度は就学奨励費と給食会計、学校徴収金などを担当させていただいています。これを書いている今は、就学奨励費の1学期分の支給に向けて、通学日数を数えたり、バスの利用実績を確認したりと、迫り来る学校閉庁日に怯えながら過ごしています。就学奨励費をはじめ全ての業務がわからないことばかりで、昨年度からいらっしゃる先生方にひとつひとつ教えていただきながら、何とか8月を迎えることができました。

就学奨励費に係る業務は、制度を理解したり、必要書類を整えたりするのに時間がかかってしまい大変さを感じることもありますが、支援学校に異動できたからこそ関わることができる業務だと思っています。保護者様からお尋ねがあっても上手く説明ができず、周りの方に助けていただくことばかりですが、1学期には分からなかったことも2学期には少しでも自分で説明できるように勉強していきたいと思えます。

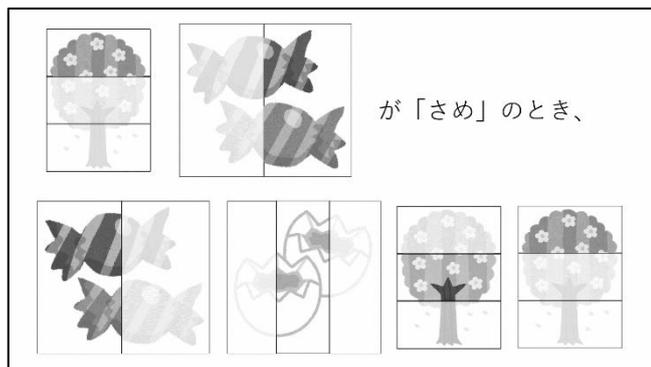
また、就学奨励費の支給が終わったら給食費の支払い業務が待っています。県立学校の給食費が公会計化したことは知っていたのですが、実際に学校会計クラウドシステムを操作して実務にふれる度に、知らなかったことを知ることができ楽しいです。

業務はもちろん天草のこともこれからもっと知って、精一杯楽しんでいけたらと思います。県立の皆さま、天草地区の皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

皆様、こんにちは、初めまして。天草支援学校の池田と申します。教育行政は4年目、天草支援学校は2年目になりました。

さて、私が初めて天草を訪れたのは、趣味である謎解きでした。天草四郎ゆかりの場所をめぐるながら謎を解いていくもので、一番遠くて大島子諏訪神社まで、熊本市内から足を延ばしていました。今ではよくある街歩き系の謎解きですが、とても楽しくて、天草をよく知ることができました。

そこで、僭越ながら、皆様にも謎を1つ置いていきます。業務のリフレッシュになれば幸いです。ヒントは足下に眠っているかもしれませ



ん。最後になりましたが、どこかでお会いした際には、よろしくお願いします。

はじめましての方もそうでない方もこんにちは。天草支援学校3年目となりました寺田と申します。事務職員として働き始めて早10数年…。未だに勉強しながらの毎日を過ごしているところです。

さて、天草支援学校は、現在長寿命化工事真っ只中です。本年度は、メインの特別教室棟の改修工事となるため、物品の移設や処分、部屋のお引越しなどなど…やることなすこと盛りだくさんで泡を吹いてしまいそうになりながら…ここ最近、暑い日々が続いているので泡が出る飲み物をたくさん飲んでしまい、日々反省しています…。

天草地区というと、何となく遠い・不便というイメージをお持ちの先生方もいらっしゃるかもしれませんが、「住めば都」です。今では天下のシャトレゼもオープンし、いよいよ、スターバックスがオープンすれば何の不自由もありません（笑）

私は、天草の方とご縁があり、きっと事務職員人生のすべてを天草に捧げることになるかと思えます。天草地区は、若い先生方が多く活気溢れる地区です。とてもいいところですので、ぜひ異動希望をされ、一緒に天草地区を盛り上げていきましょう。

最後に、海外旅行をこよなく愛する本校の主任事務長が、コロナが明けて校長先生からの許可もでて！やっと念願の海外旅行に行かれました(^^)

最後に「スリランカ紀行」をご覧ください。



「スリランカ紀行」

熊本県立天草支援学校
主任事務長 富田 賢

皆さん、初めましての方もそうでない方もこんにちは。この夏、5泊6日で海外旅行に行ってきました。行先はスリランカ。スリランカとはシンハラ語で「聖なる光輝く島」、海外の空気を吸ってリフレッシュしてきましたので御報告させていただきます。

旅のコンセプトは人それぞれ、自分の旅のコンセプトは世界の旅人や現地の人との交流だ。バックパックに荷物と期待感をいれていざ出発。

旅行初日。経由地の上海までのフライトの機内の会話のメインは中国語や英語だが、日本語も行き交い、海外への準備運動といったところ。上海空港で乗り換え。航空券に印字されたゲートに行くと別の便の表示が？ゲートが変更になっていた、カウンターのお姉さんに新しいゲートを教えてもらい、スリランカへのフライトを待つ。隣で中国人の子供がゲームをしながら飛行機を待っている。これからの旅行を楽しみにしているのか、鼻歌交じりの歌を歌っている。そういえば上海までのフライトでも子供が自分で歌詞とメロディを作りながら日本語で歌っていた。恐らくこの中国人の子供も作詞、作曲していそう。子供は万国共通、自分で楽しむすべを知っている。

スリランカ行きの機内に乗り込むと、隣はスリランカ人の女性。笑顔が素敵な歳は20代かな。お話を伺うとニュージーランドで働いていて、久しぶりに里帰り。今回はスリランカのコロomboとキャンディの2つの都市を中心に旅行すると伝えると、旦那がキャンディ出身とのこと。旦那と二人で象の横で撮った写真を見せてくれた。



とても幸せそうだった。その他にも沢山の写真とともにスリランカの見どころの話をしてくれた。上海からスリランカの7時間のフライトもあつと言う間だった。そういえば、ダイソーで買った首枕も結構重宝した。皆さんも長距離フライトにはご持参ください。

いよいよ入国審査、スリランカ入国にはビザがいるが、1週間前に申請しようとしたらインターネットサイトがリニューアルのため申請できなくなっていた。そんな大事なサイトが閉鎖とは随分おおらかな国だなと感じた。仕方なく到着空港でとれるアライバルビザに切り替え無事入国。空港出口を出て外貨両替。レートはどこも同じなので空いているところに行く。次は携帯シムの購入、10Gで650円程度。旅で電話とネットがつながると楽だし安心。それでいつも現地のシムを購入するようにしている。Uberで予約した車でコロomboへ50分ほどで到着。途中でドライバーさんがロータスタワーやカジノなど観光スポットを通過するたびに説明してくれた。宿の受付のお兄さんも優しく宿泊説明をしてくれた。

明朝早く出るが大丈夫かと聞くと、問題ないとのこと。

旅行2日目。早朝 5:30 にカウンターに行くと受付のお兄さんはきちんと起きていてくれた。観光客をねらったストーリー詐欺やタクシーのぼったくり、すりなどに気をつけてと送り出してくれた。この手のトラブルはどこにでもあるんだなと思った。そして、ここは海外、自分の身は自分で守らなくてはと気を引き締めた。

第一目的地は紅茶の産地で有名なヌワラエリヤへ行き、夜はキャンディまでのかなりの弾丸ツアー。コロomboフォート駅から旅のスタート。駅カフェでスリランカのパン、ロティを朝食に食べ腹ごしらえ。日本でいう惣菜パン。美味しい、今回の旅でちょこちょこお世話になりそうだ。列車はネットであらかじめ予約していたのでカウンターに行き切符に変えてもらう。ヌワラエリヤまでは8時間あまりの鉄道旅。なんとスタート時点で自分の車両は貸し切り状態。3時間ほど乗車して通過したキャンディから満席。英語、スペイン語が行き交い一気に観光列車化する。そして、海外あるあるで列車の遅延。キャンディは本来9時40分発のはずだが10時30分に出発、日本の鉄道の正確さに改めて敬服。途中午後の紅茶のCMで目黒蓮が通過した区間を通った。茶畑の広がるなんともどかな雰囲気であった。実際にお茶を摘んでいる様子も車窓から眺めることができ感無量であった。ヌワラエリヤの最寄り駅(オヌナヤ駅)には2時間遅れで到着。オヌナヤ駅からローカルバスでヌワラエリヤの町まで25分。日本の「午後の紅茶」も契約しているペドロティーファクトリーをトゥクトゥクで訪問。16時に到着。17時まで開いているはずだが、なんとちょうど従業員さんが鍵を締めて帰られるところだった。残念。工場の前でトゥクトゥクのドライバーさんと写真撮影して街に戻る。

キャンディに行くのでバスセンターに戻ると伝えると、せっかく来たのならティーセンターに行こうとのこと。沢山の紅茶の説明と香を楽しみ旅のはじめなので、荷物にならぬよう気持ちだけキャンディミックスというブレンド紅茶を購入した。

その後トゥクトゥクのおじさんがキャンディ行きのバスへ案内してくれた。ヌワラエリヤの風を浴びながら、ヘアピンカーブの続く道を沢山の現地のスリランカ人が乗り降りする様子を観察し、

キャンディに3時間余りで到着。列車と比べると2時間早く到着。無事宿へチェックインした。

宿で知り合った、インド人、スリランカ人、韓国人とビールを飲みに出かけることにした。近くのカフェに行くと、何でも今はペラヘラ祭り(仏教のお祭り)がっていて祭りの期間にはアルコールをお店にも置いていないとのこと。おまけに肉などもこの祭の日には食べないとのこと。ベジタリアンメニューのみだった。そういえば機内で会ったスリランカの女性もベジタリアンだったことを思い出した。日本だとアレルギーで食べられないくらいだが、宗教上やアーユルヴェーダのため肉類を食べないなど、多様な価値観をここでも実感した。



ちなみにアーユルヴェーダとは病気になって治すのではなく、病気にかかりにくいようにする予防医学のこと。キャンディーでアーユルヴェーダのお店に行ったが、様々な商品が陳列されていた。お店は地元客でごった返しその人気の高さが伺い知れた。病気になって治療するのではなく、病気になりにくい体づくり。普段、栄養の偏った食事とビール好きな私には高尚な教えに思われた。

旅行3日目。今回の旅のハイライトである世界遺産シギリヤロック訪問。シギリヤロックに行くため今回スリランカを旅先に選んだ。シギリヤロックは高さ約 195m の岩山。その頂にはシンハラ王朝の 5 世紀、父を殺害し王位を奪ったカッサパ 1 世が築いた王宮の跡がある。頂上までは約1200段の階段がある。途中、暑さと日頃の運動不足で息切れ。頂上まで登れるかくじけそうになったが、ここまできて登らずには帰れないと自分を励ましながら登った。頂上まで登って見た景色は何とも言えないものであった。下山途中で壁画も見学。その作品の美しさに見とれてしまった。皆さんもぜひ一度は足を運んでみてはいかがでしょうか。

旅行4日目。楽しかったキャンディとシギリヤを後に帰国前の最終目的地コロンボへ列車で向かう。1等車を予約していた。あいにく天気が雨なので2等車だとファンだけで窓が開けられないので暑かっただろう。幸いに1等車はエアコンが効いている。快適と思いきやだんだん寒くなってきた。なんと設定温度見たら 22 度、そりゃ寒いはずだ。長袖をリュックのすぐ取り出せるところに入れていたので助かった。旅の際はエアコンが効きすぎたりするときもあるので、長袖を持っておくと便利。



ここで、スリランカの食事について、カレーが主食だがお米だけでなくクレープのようなものと一緒に食べる。ドーサというコメや豆のクレープ生地のものにチーズとオニオンのトッピングをしたものとカレーの組み合わせが絶妙であった。また、バナナの皮で包んだカレー。鶏肉とたまごが入って、7up(サイダー)を入れて 500 ルピー(250 円)、日本人好みの味で大満足であった。そしてここは紅茶の国、ネスカフェならぬネスティーがあると聞いていた。ネスティーの看板発見。ネスティー、食後のミルクティーの甘さが疲れた体に染み渡った。そして、スリランカのカレーは肉、魚のカレーは辛め、野菜のカレーはマイルドなことが多いそうだ。

旅行5日目。皆さんはスリランカの首都はどこだか知っていますか。コロンボではありません。スリジャヤワルダナプラコッテ、きっと中学の地理でみんな覚えるのに苦労したのではないのでしょうか。その首都にも行ってきました。コロンボの隣に位置する行政の街。基本的に観光的要素の少ない街だ。ということで数少ない観光スポットの国会議事堂を見学してきた。思いつきで前日にウェブサイトから見学予約。コロンボからスリーウィラー(トゥクトゥク)で 50 分くらいで到着。入口ゲートでパスポートを見せて許可証を発行してもらっ

た。バックパックはゲートに預けいくようにとのこと。写真撮影不可のためスマホも置いていく。入口ゲートには車の下の爆弾も検査できるよう地下ピットが設置されていた。待つこと15分。迎えのバスが来て5分ほど乗車すると国会議事堂のエントランスに到着。許可証を見せセキュリティチェックを受ける。

案内のお姉さんがお出迎え。国会議事堂の模型を前に建物の概略の説明を受ける。日本も議事堂の建設援助をしているとのこととでちょっと嬉しかった。歴代の議長席などの展示を見る。2階に上がると再度セキュリティチェックの後、会議場の中に入る。真ん中を境に左右対称に合計300席ほどの座席が配置されていた。また、中央にはきらびやかなハスをモチーフにした黄金の照明。2階観覧席にはスリランカにちなんだ動物などをモチーフにした様々な旗が設置されていた。見学旅行の現地の中学生も熱心に説明を聞いていた。ちなみに国会の観覧は日本人でもできるとのこと。政党は小さい政党が沢山あり、連合を組んで与党と野党に分かれているとのこと。今度は1階に降りて会議場に入るドアを見せてもらう、こちらにも動物などをあしらった細かな装飾と政治の目指すところのスローガンがサークル状に刻印されていた。ドアの中央にハスがあしらわれていた。「日本国のマークに似ている。」と説明のお姉さんにいうと「日本も同じ仏教国だからね。」との答え。でも後でよく考えたら日本国のマークは菊だった。お姉さんごめんなさい。ちなみに、このドアは議事堂の中からは開けられないので入れないとの説明だった。ここで賞味40分ほどのツアー終了。

次に近くのスリランカ日本教育文化センター(SNECC)を訪問した。Mahindaramaya 寺に併設されている教育施設。受付で見学に来た旨を伝えると、岡山出身の難波さんが学校を案内してくれた。日本語学校だけでなく幼稚園なども併設されているとのこと。ちょうど運動会の踊りの練習を子供達がしていたので参加させてもらう。女の子のほうが積極的で、男の子は後ろの方で遠目に見ていた。しばらく交流して記念写真を撮らせてもらった。日本語の授業は夕方と土日を中心にしているそうだ。また、現地で本当の親と暮らしながら、学費だけ援助してもらう日本人里親制度があるとのことだった。スリランカの学校は基本無料だが、学用品を買ったりするお金がない家庭も少なくない。それを援助してもらうとのこと。年間3万円を5年間援助するそうだ。月にすると2,500円。日本人からするとわずかな金額だが、教育格差と経済格差は世界共通の課題であることを思い知らされた。最後に受付で来年から日本の大学に奨学金で通うチャンスを得たマーヤ(仮名)に会う。彼女は流暢な日本語を話せるが、日本に行くかどうか迷っているようだ。やはり海外で生活するのは期待もあるが不安も大きいようだ。そんな彼女の不安の一つが自転車に乗れないこと。難波さんは日本に行くなら練習しなよと彼女に言う。確かに今回の旅で自転車に乗っている人を見かけなかった。都市部は交通量が多く、自転車での移動は危ないそうだ。帰りしな園長先生にお礼を述べ



て、SNECC の看板前で記念撮影。次回は授業がある時に来てねと言われた。

帰りの飛行機では機内泊。隣の席はドイツ人。スリランカは楽しかったねとお互いの旅行話をして旅は終了。

今回の旅を通じてたくさんの人と知り合うことができ、人の優しさやたくましさを肌で感じる事ができた。日本の教育も多様性を尊重する時代になっている。昭和世代の私には柔軟な考え方ができない時があるが、今回の旅を通じてスリランカで出会った人たちがそうであったように、それぞれを尊重し、協力し合える社会を築いていこうと思った。

次はどこに行こうかな・・・。



「天草の青春」

熊本県立天草工業高等学校
事務職員 豊嶋 紗季

今年度天草工業高校へ赴任し、初めての県立学校勤務で教育センターより異動して参りました。主に支出を担当しています。よろしくお願いいたします。

高校3年間寮で過ごした天草に帰って来て、懐かしい思いと、車で走る新鮮な気持ちですごくワクワクしています。

初めての学校現場で職員としての立場で働くことが緊張の毎日で、生徒たちの青春を見届けながらも生徒や先生方との関わり方を探りながら過ごしています。

ギャップと不安を感じたところはシステムの違いと学校の広さです。

ゆう net やRPA、スターズなど未だに使いこなせてはいません。

学校は棟がいくつもあり何度も迷子になっていました。不思議な造りをしている学校のため未知のエリアがたくさんあるのでいつか探検をしたいなと思っています。

4月末に実施された体育大会では青春を目の前で見られてすごく感動しました。記録係を任せ、本部の正面テントから初めて体育大会を見ました。特に最後のマスゲームで生徒たちが頑張っている姿を見てすごく心が打たれました。

これまでは鳥の鳴き声が聞こえる穏やかな教育センターにいたので、採用3年目にしてようやく自分は本当にこの教育行政職という学校事務の職に就いたのだと実感しました。

この夏、天草工業高校、天草市はすごく盛り上がっていました。

第106回全国高等学校野球選手権熊本大会で天草工業が45年ぶりのベスト4！ベスト8に行くまでも険しい道のりであるのに、県内4強に入って、明るく元気に無邪気に頑張る姿、全力で校歌を歌う姿にたくさん元気をもらいました。

一度、大きい扇風機を運ぼうとしていた時に手伝ってくれたのが野球部の3年生の子たちで、ちょうど試合前の時期で少し野球のお話をしました。そのくらいのエピソードくらいしかないけれど天草のヒーローたちとの関わりがあるだけで今思うとすごい誇りです。

これから文化の秋となり、文化祭も控えていて、見られるのかはまだ分かりませんが生徒たちの今しかない数々の青春の瞬間に立ち会えるのが楽しみです。

「苓北支援学校の紹介」

～今回は、学校や事務室のことを紹介したいと思います。～

熊本県立苓北支援学校
事務長 松上 康子

1 学校紹介

本校は重度重複障がいのある児童・生徒が在籍する特別支援学校で、個々の可能性を伸ばし、自立と豊かな生活につながる教育を行っています。本校は、はまゆう療育園に併設しており、児童・生徒の多くははまゆう療育園から通っています。

2 学校行事

本校では様々な学校行事を行っていますが、その中で令和6年6月25日(火)、はまゆう療育園大会議室にて行いました「スポーツ競技大会」を紹介します。

「きらり☆えがおのなかまとナイスプレー」

午前中は全体競技「みんなでゴルフ」を行いました。会場に3つのゴルフコースを設置し、装置を使い自分でボールを転がしてカップインを目指しました。午後はボールでボードを倒す「パタポン」や新聞紙で引っ張り合う「びりびり相撲」で頂上決戦を行いました。

児童・生徒、保護者、卒業生、はまゆう療育園の皆様の、きらり☆と光る笑顔、仲間と共にふれあう姿、ナイスプレーがたくさんあるスポーツ競技大会でした。

3 事務室より

○事務長 松上 康子

天草に赴任して24年目になりました。

新しい校舎で、いつも協力的な先生方と一緒に仕事をする事が出来て感謝しています。天草という土地柄、天草に赴任し3～5年後に他の地区に転出して現在ご活躍されている先生方が多くいます。(もちろん天草地区で引き続きご活躍されている先生も…) お元気にされていますか？天草でご一緒した時は大変お世話になりました。

協会だよりということで、趣味の話や天草のお店紹介も考えましたが、いつも来校者から「絶景ですね。」と褒められる本校から見える景色を紹介したいと思います。

苓北にお越しの際に、天気が良ければこの景色をご案内しますよ。

(校舎2階 高等部教室より)



(校舎1階 外階段付近より)



○事務主査 伊達 佳織

天草に赴任して、早いもので10年が経ちます。赴任当初は3年で地元(山鹿)に戻るかなと思っていましたが、いつの間にかこの天草で結婚し子どももでき、家建てていました。天草は観光地のイメージが強いですが、とっても住みやすく、特に子育てしやすい街だなと感じます。本渡地区だけでも、公園がたくさんあり、今の季節は専ら家で水遊びですが、涼しくなると毎週末子どもたちと公園巡りをしています。

また、私は魚介類が苦手です。特に生魚はNGでしたが、やっぱり天草の魚は新鮮で鯛のお刺身は食べられるようになりました！海産物だけでなく、牛や豚、鶏肉もおいしい特産品があります。

そんな天草に、観光としてはもちろん、住んでみたいという方お待ちしております！

○事務職員 成田 希実

今年の夏休みは“夏”らしいことが久々にできました。姉家族が遊びに来てくれたので、一緒に手持ち花火を楽しみました。もうすぐ2歳になる甥っ子も全く物怖じせず、キャッキョと声をあげてパチパチなる音や花火の勢いを楽しんでいるようでした。

社会人になってからというか、ここ数年はなかなかこういう風情のあるものを楽しむという経験が少なくなってきたので、私自身もすごく新鮮な気持ちで夏を楽しむことができたなと感じています。



性格的になかなか外に足を運ぶことに積極的になれないことの方が多い…ですが、自分の時間が比較的取りやすい今だからこそ、ちょっと勇気を出してこういう季節ごとのイベントやもっといろんなことを経験しにいけたらいいなと思います。これからの季節でおすすめの場所などがあれば是非私に教えてください♪

「初めての県立学校勤務」

熊本県立上天草高等学校

事務職員 小林 円佳

○学校でのこと

採用4年目となる今年度、上天草高等学校に勤務することになりました。昨年度までは、学校事務センター配置校である中学校で勤務していました。

今年度高校へ異動し、義務制とのギャップを感じる事が多くありました。初めて使うシステムの操作、各保険料の計算と支払い、電子入札など、義務制ではしてこなかった業務に最初は戸惑いました。過年度のものやマニュアルを見たり、事務長先生や前任の先生、近隣学校の先生方に教えていただいたりしながら、この約5か月間をなんとか乗り越えられました。

また、義務制との大きな違いといえば「給食がない」ことです。中学校では毎日美味しい給食を山盛り食べていたので、高校への異動が決まった時にまず思ったのは「4月からは給食がない！」ということでした。

幸い、上天草高校には売店があり、毎日の昼食に困ることはありません。不定期で販売されるいきなり団子が、私の密かな楽しみになっています。

○趣味のこと

仕事では、4月からバタバタの日々を送っていますが、好きな歌手のライブに行くことやドラマや映画を見ることという趣味は、むしろこれまで以上に楽しんだ約5か月間でした。プライベートの時間をしっかり取ることが、仕事を頑張るモチベーションになっています。

○最後に

ジョブローテーションで義務制から県立学校へ異動し、まだ慣れないことも多いですが、新たな経験をプラスに捉えて、今後も県立学校での業務を頑張っていこうと思います。



上天草高校マスコット
「カミ・アーマちゃん」

新規採用職員の皆様のご紹介

今年度、県立学校では9人の先生方が新規採用職員として勤務されております。

熊本北高等学校 梅山 愛梨 先生

庶務・収入・就学支援金等を担当しています。

大学は熊本を離れていたため、久しぶりの熊本で働くことができうれしく思っています。

仕事は、初めての連続でわからないことだらけですが、先輩方に丁寧に教えていただきながら働いています。

様々な機会を通して、ほかの事務職員の方とも繋がりを持ちたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

湧心館高等学校 児玉 彩梨咲 先生

営繕・支援金を主に担当させていただいております。

宮崎県延岡市出身です。くまモンの大ファンで熊本県職員となれたことに誇りと嬉しさを感じています。

毎日が勉強で職場の方々から関係機関の皆様から沢山の事を教えていただき、私の支えとなっています。

仕事を覚えていきながら様々な環境で成長していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

熊本農業高等学校 古賀 風花 先生

高校卒業から一年後にこの仕事に就きましたが、高校という場所に、職場ながらもどこか懐かしさを感じています。

極度の人見知りですが初めは不安もありましたが、優しく頼もしい先輩方のおかげで日々楽しく充実しています。

毎日のように新しい発見があり、やりがいを感じるばかりです。

至らない点ばかりですが、これからも精進していきます。

大津支援学校 皆本 航典 先生

給与・共済・人件費・就学奨励費・作業会計を主に担当しております。業務についてはわからないことばかりですが、先輩方に教えていただきながら日々精進しております。

赴任を機に車を購入したので、週末は美味しい店の開拓や温泉巡りをしています。オススメの場所等ありましたら教えていただくと嬉しいです。よろしくお願いいたします。

阿蘇中央高等学校 工藤 さき 先生

支援金・収入等を主に担当しています。

大学時代パーパードライバーだった私は、業務と同じくらい長距離運転が不安でしたが、阿蘇の壮大な山々の景観に日々圧倒されながら、運転の楽しさを感じ始めています。

日々初めての連続ですが、先輩方から沢山学び、一人前の事務職員になれるよう努めて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

菊池農業高等学校 片山 尊 先生

初めまして。菊池農業高校の片山です。

就学支援金・教育財産・旅費・収入・奨学のための給付金を担当しています。

3月に専修学校壺溪塾を卒業し、4月から採用されることになりました。もう学生ではなく、社会人としての自覚を持ち行動していくことを意識して生活をしていきたいです。

仕事面でまだまだ分からないことばかりですが、日々精進していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

松橋西支援学校 川崎 悠 先生

現在は、給与や就学奨励費、給食事務等を担当しています。わからないこともたくさんありますが、周囲の先生方に支えられながら、日々の業務に励んでいます。自分自身が少しでも成長していけるよう、仕事に臨みたいと思います。

今後、多くの場面で皆さんにお世話になるかと思っています。そのときはどうぞよろしくをお願いします。



人吉高等学校 松本 祐子 先生

人吉高等学校の松本祐子と申します。就職を機に、5月に実家を出て一人暮らしを始めました。仕事も私生活も環境が一変し、当初は戸惑いもありましたが、優しい先生方に囲まれて毎日楽しく働いています。

業務を進める中で新しく学ぶことが多く、慣れないながらも自分出来ることから一つずつ頑張っています。よろしくお願いたします。



南稜高等学校 山村 みう 先生

初めまして！南稜高校の山村です。

給与・旅費・共済・庶務・収入・奨学給付金を担当しています。

3月に人吉球磨内の高校を卒業し、同じ人吉球磨内で勤務できることを嬉しく思う反面、実家から通っているため、一人暮らしをしてみたい気持ちもあります（笑）。

仕事面でまだまだ分からないことばかりですが、日々精進していきますのでどうぞよろしくお願いします。



新規採用職員の皆さま、自己紹介ありがとうございました。これからどうぞよろしくお願いたします！



編集後記

今回の協会だよりは、天草地区が担当いたしました。ご多用の中、原稿の作成にご協力いただいた天草地区の先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度事務職員として4年目、県立学校での勤務・天草への赴任は1年目になります。今まで海には縁のない地域で過ごしてきたため、海沿いを車で運転するときは新鮮な気持ちで楽しみながら走っています。

表紙の写真は、本校で8月から導入を開始した、天草大王の雛と生後1日目の子豚です。赴任してきて、鶏の飼育は今回が初めてのため、雛たちが動き回っているのを見ているだけで癒されます。特別会計を担当していますが、事務処理に追われ、なかなか農場や畜舎に足を運ぶことができずにいます。これを機に、農場散策に行きたいところです。本校のインスタグラムで、天草大王の雛の動画やマリン校舎の実習の様子などなど・・・見るできるので、ぜひチェックしてみてください！

これからの皆様の御健康と御多幸を心からお祈りして、編集後記とさせていただきます。最後までお読みいただきありがとうございました。

天草地区代議員

天草拓心高等学校（本渡校舎） 事務職員 荒木 さくら